

東京都立大学・首都大学東京自動車部 OB&OG 会誌

ているらんぷい

第7号 (2017年8月発行)



首都大の競技車

2017. 7. 7-8

府大戦

ジムカーナ戦

力走風景



府大の競技車

<掲載内容・第5回総会特集>

- | | | | |
|---------|------------|---------|----------------|
| 1 頁 | はじめに | 21~23 頁 | 参加できなかった方からの近況 |
| 2 頁 | 幹事、役員紹介 | 24 頁 | 編集担当からのお願い |
| 4 頁 | 会長挨拶 | 24 頁 | 編集後記 |
| 4~7 頁 | 活動、会計報告 | | |
| 8~9 頁 | 現役の活動報告 | | |
| 10 頁 | ドライブツアー計画 | | |
| 10~18 頁 | 出席者からの近況報告 | | |
| 19 頁 | 懇親会後の写真 | | |
| 20 頁 | 2次会写真 | | |

<はじめに>

ているらんぷ7号の編集について 佐々木 (1968年入学)

今号は、7月15日(土)に開催された第5回・自動車部OB&OG会総会の特集号です。総会の具体的内容、雰囲気や全体像が、参加できなかった皆様にも分かりやすいように、写真等を使ってビジュアルに編集しました。

参加者の「近況報告」や、参加できなかった方の「メッセージ」等も掲載しましたので、今後、会員の皆様方相互のコミュニケーションのきっかけにして頂ければ幸いです。

第5回 東京都立大学・首都大学東京自動車部 OB & OG 会総会

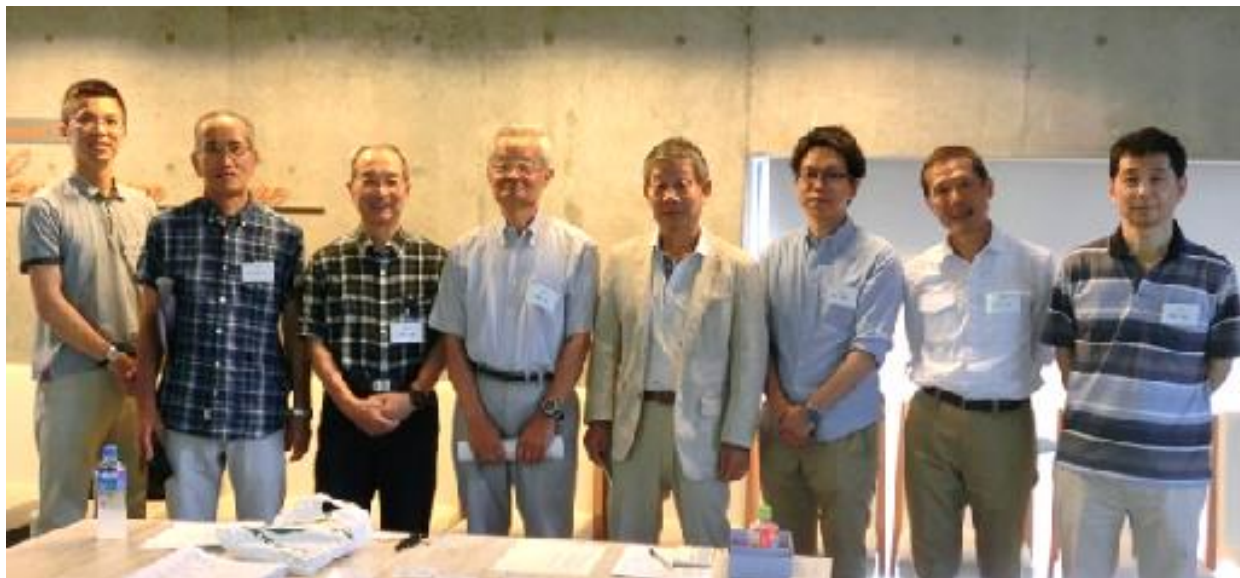
開催日時：2017年7月15日(土) 15:00 ~17:00

会 場：国際交流会館 レストランルベソンボール南大沢



第5回総会に出席されたOB & OGと現役部員

< 幹事・役員紹介 >



幹事会は写真左から 佐藤、佐々木、小西会計監査、岡崎会長、河本副会長、芳賀、小島副会長、坂巻会計及び写真に間に合わなかった山崎、斎藤の 10 名で担当します。(敬称略)
 今年の総会で全員留任となりました。(留年ではありません)



山崎 (1972 年入学)



斎藤 (1999 年入学)

幹事名簿

入学年度	氏名	Eメール	備考
1968	岡崎	avion6-oka@sky.plala.or.jp	会長
1970	河本	michio_121@mbn.nifty.com	副会長
1969	小島	kojima-a@w2.dion.ne.jp	副会長
1967	小西	jk1rej_leo@hotmail.com	会計監査
1999	斎藤	hhss@be.to	
1971	坂巻	sakamaki@jn5.so-net.ne.jp	会計
1968	佐々木	ik.sasaki@jcom.zaq.ne.jp	ているらんぷ編集長
1995	佐藤	tsatotype2@gmail.com	
1972	山崎	ma-yamazaki@amco-inc.net	書記、ドライブツアー
2000	芳賀	haga.takahumi@opal.plala.or.jp	

<総会前風景>



首都大学の入り口



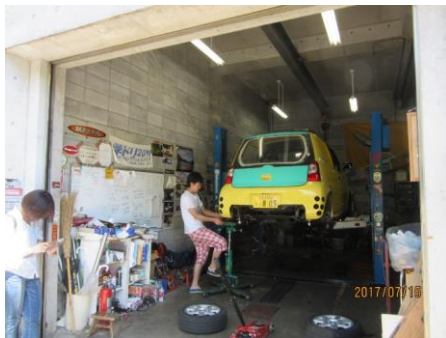
会場の国際交流会館



役員の受付準備



受付風景



ガレージでは現役が整備に夢中



総会始まり

<第5回東京都立大学・首都大学東京 OB・OG 会総会式次第>

1. 開会の辞 小島副会長
2. 会長挨拶 岡崎会長
3. 議題
 - (1) 第一議案 2016 年度活動報告
 - (2) 第二議案 2016 年度決算案・監査報告 決算案の承認
 - (3) 第三議案 役員改選
役員の立候補受付
新役員の選任・承認
 - (4) 第四議案 2017 年度活動方針
 - (5) 第五議案 2017 年度予算案
上記活動方針を受けての予算案承認
4. 閉会の辞 小島副会長



司会 小島副会長



新幹事 芳賀さんの挨拶

<会長挨拶> 岡崎 (1968年入学)



皆様こんにちは、年に一回の総会に元気な顔が揃いました。この会も皆様のおかげで5回目になりましたが、参加される方が減少してきており、少し気になる所です。OB & OGの所在が分かっているので、すぐに連絡が出来るようになり、いつでも会える環境になってきたからかもしれません。会員相互の親睦も図れるようになってきておりますので長い目で見ていきたいと思っております。特に、若い方は、仕事や家庭も大切ですので、時間がなかなか取れませんが、

いろいろなイベントなどを通じて、仕事の話や技術情報の話など情報交換が出来るような事もしていきたいと考えています。また是非、このような機会を活かしていただければと思います。

先日、久しぶりに府大戦に特別参加を致しました。ジムカーナとラリーの2種目があり、ラリーに参加いたしました。計算ラリーは卒業以来なので、まともな戦いとはいきませんでした。雰囲気は楽しめました。休憩時間などに部員と話をする、車に対する熱意は変わらないものがありますが、環境が違うので、なかなか思うような活動が出来ないようです。運営や練習など未熟なところもありましたが、若手の先輩からの伝承がうまくいっていなかった時期もあり、苦勞して形を作ってきているようです。合宿などで学生との交流の機会がありますので、頑張っている姿を是非見てください。

<2016年度の活動報告> 河本 (1970年入学)

2016年度の活動を報告いたします。

7月16日に首都大学東京内レストランで総会と懇親会を開きました。OBは30名、現役学生は15名の参加でした。

幹事会は5月、7月、9月、11月 2017年1月、3月の6回開催し、11月以外は現役主将らが参加し、幹事会後は渋谷の居酒屋での反省会が定例になっています。

ドライブツアーは11月12-13日に甲府、昇仙峡方面で実施しました。

11月18日には大学内で講演会を開きました。コルトモータースポーツクラブ本部事務局長の須賀様から

1. 日本のモータースポーツの歴史
2. トヨタ・ホンダの2016年ワークス参戦体制
ユーザー支援体制
3. 2016年世界自動車メーカーのモータースポーツ（世界選手権など）参加状況
4. 主たる競技（世界選手権など）の特徴（レギュレーションなど）
5. 日本・海外自動車メーカーのモータースポーツ取り組みの違い



について講演をしていただきました。

1月の新年会を渋谷にて約15人で実施。3月の追い走（現役学生）は茂原サーキットでOBも一緒に走行しました。

<2016年度（平成28年4月1日～平成29年3月31日） 会計収支報告及び2017年度会計予算案について> 会計担当 坂巻 （1971年入学）

2016年度会計収支報告

収入総額は415,381円となり、支出は主に懇親会費用、現役部員の活動支援で、その総額は315,577円、次年度への繰越金99,804円となりました。



現役部員への支援としましては、昨年度入部した新部員用にユニフォーム2着の寄贈及び府大戦強化費に充てられました。

収入の部

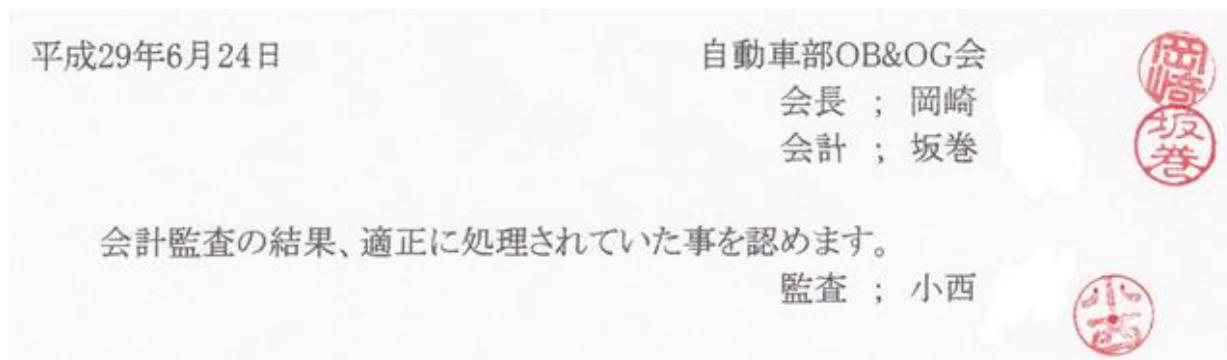
（単位：円）

勘定科目	決算額	備考
総会会費	159,000	通常会員25名、特別会員3名
寄付金	152,000	
繰越金	90,746	
その他	13,634	
	1	講演会会費、ドライブ会残等
合計	415,381	普通預金利息

支出の部

勘定科目	決算額	備考
懇親会費	157,800	ユニフォーム代(2着)、銀行振込み代
現役部員の活動支援	12,108	
イベント準備費	100,000	現役部員の支援金(H29年度府大戦強化費)
印刷費	19,114	講演会講師車代・ドライブ会下見高速/ガソリン代
通信費	3,040	総会案内状往復はがき代
ホームページ維持費	10,400	
幹事会運営費	6,300	
小計	6,815	会場費+お茶代
次期繰越金	315,577	
合計	99,804	
合計	415,381	

＜2016 年度（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）
東京都立大学/首都大学東京自動車部 OB&OG 会 会計
監査報告＞ 会計監査 小西（1967 年入学）



＜2017 年度 活動予定＞ 河本（1970 年入学）

- ・現役支援（資金援助、ユニフォーム制作）
- ・幹事会 6/24 実施済み、今後数回予定
- ・総会／懇親会 7/15
- ・ドライブツアー 11 月 11-12 日
- ・講演会 11/19（日）15 時から 渋谷八雲クラブで
『F1 用タイヤ開発秘話』
講師 元ブリヂストン 浜島裕英氏
- ・ているらんぷ 発行 2 回 7 号（8 月），8 号 2017 年（1 月）
- ・その他 氷上走行会（検討中）

＜2017 年度会計予算案＞ 会計担当 坂巻（1971 年入学）

総会出席者数、寄付金を昨年同等と見込み、収入総額を 410,804 円としております。支出は懇親会費用、現役部員の活動支援等で、その総額は 319,208 円、次年度への繰越金 91,596 円としております。現役部員への支援としましては本年度入部した新部員用にユニフォーム 3 着の寄贈、合宿の練習コース代、来年度の府大戦交通費及び昨年度から始めた軽自動車耐久レースへの資金援助を計画しております。

収入の部

(単位;円)

勘定科目	2016決算額	2017予算額	備考
総会会費	159,000	159,000	通常会員25名、特別会員3名
寄付金	152,000	152,000	
繰越金	90,746	99,804	
その他	13,634	—	
普通預金利息	1	—	
合計	415,381	410,804	

支出の部

勘定科目	2016決算額	2017予算額	備考
総会費用	157,800	157,800	ユニフォーム代 ; 18,108 府大戦等支援 ; 100,000 講演会講師車代・ドライブ会 会場費等
現役部員の活動支援	12,108	118,108	
イベント準備費	100,000	20,000	
印刷費	19,114	5,000	
通信費	3,040	2,000	
ホームページ維持費	10,400	6,300	
幹事会運営費	6,300	10,000	
小計	6,815	319,208	
繰越金	315,577	91,596	
合計	99,804	410,804	

<懇親会が始まる>

乾杯



<現役部員からの活動報告>

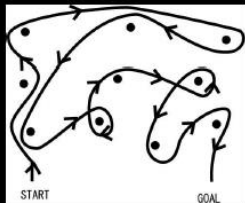


競技内容

- ・ジムカーナ
 - ・府大戦1日目(7日(金))
 - ・筑波サーキットジムカーナコースを使用
- ・計算ラリー
 - ・府大戦2日目(8日(土))
 - ・厚木PAから富士宮市内まで(100km)を走行

ジムカーナとは

・駐車場や広場などにパイロンを設置し、主催者に指示されたコースをいかに早く走るかを競う競技。

ジムカーナ

		練習ベスト	ハンデ込	本番ベスト	ハンデ込	順位	ポイント
スウィフト	首都大	1.08.812	1.10.812	1.11.040	1.13.044	1	10
トルネオ	府大	1.05.785	1.07.785	1.11.529	1.13.529	2	9
RX-8	首都大	1.10.682	1.11.682	1.13.266	1.14.266	3	8
CRX	府大	1.05.074	1.09.074	1.10.600	1.14.600	4	7
アルテッツァ	首都大	1.11.673	1.12.673	1.13.761	1.14.761	5	6
ミラ	首都大	1.12.134	1.12.134	1.17.259	1.17.259	6	5
FIT	府大	1.12.676	1.12.676	1.18.576	1.18.576	7	4
レビン	首都大	1.10.048	1.13.048	1.15.218P	1.23.215	8	3
RX-8	府大	1.10.547	1.13.547	1.21.117P	1.29.117	9	2
ヴィッツ	府大	なし	なし	なし	なし	10	1

首都大 32pt、府大23pt → **首都大の勝利!!**

計算ラリー

		CP1	CP2	CP3	CP4	合計	順位	ポイント
RX-8	府大	1:51	6:33	10:38	0:15	19:11 (1151点)	1	10
ムーヴ	首都大	2:38	17:16	0:27	3:05	23:19 (1399点)	2	8
CR-X	府大	4:41	8:23	13:14	8:05	34:17 (2057点)	3	6
スウィフト	首都大	2:21	10:16	19:14	6:02	37:47 (2267点)	4	4
ヴィッツ	府大	1:21	8:22	18:13	14:05	39:58 (2398点)	5	2
アルテッツァ	首都大	2:20	7:42	33:10	18:53	1:02:01 (3721点)	6	1

首都大 13pt、府大18pt → **府大の勝利!!**

結果

首都大が勝利しました!!

	ジムカーナ	計算ラリー	総合
首都大	32pt	13pt	45pt
府大	23pt	18pt	41pt



活動報告と今後の予定

- ・追い走(追い出し走行)
- ・合宿




追い走 (追い出し走行会)

・茂原ツインサーキットにて毎年、年度末に開催。卒業される先輩を追い出すと共に、自分の1年間の集大成を試す機会。

Mobara Twin Circuit



茂原ツインサーキット
全長 1270m
高低差 9m
コーナー数 10ヶ所



合宿

・妙高杉の原スキー場駐車場にてジムカーナを中心に練習。
今年は9月8日～10日の予定。

・合宿の目的
広い場所で車のコントロールの技術を学ぶ。
自分の目標を立て、しっかり練習する。下級生は先輩を目標に練習。



2017年度 軽耐久報告 (エッセ)

本庄サーキットで行われる3時間の耐久レース(参加台数:30台程度)

本庄軽one耐久2017
Honjo-Keione-Durability2017
 全3戦 Rd.1:2月19日(日) Rd.2:6月25日(日) Rd.3:8月27日(日)

レギュレーションや日程の
 詳しい内容は本庄サーキットHPをご覧ください。
 ※前年の内容と少し異なりますので規則書は必ず目を通してください。

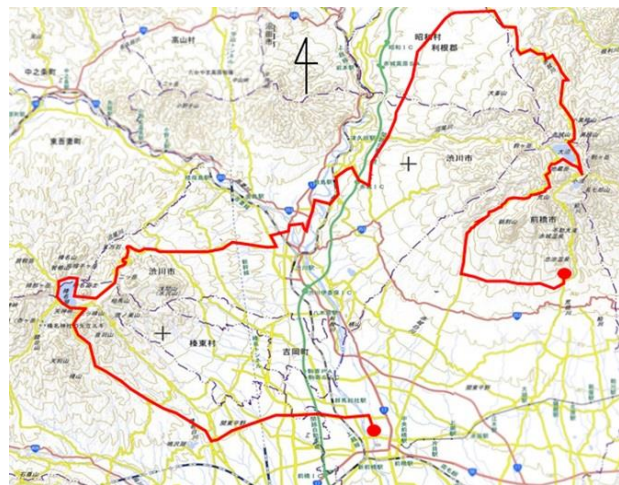


6月25日 Rd.2
学生クラス 1位
総合 2位!



<2017 ドライブツアーのご案内>

企画担当：山崎（1972年入学）



総会で2017年度のOB&OG会ドライブツアーを提案しました。

概要としては

日時：11月11日（土）～12日（日）

エリア：榛名・赤城方面

形式：コース図に従ったラリー形式のドライブ。指示速度が設定され、チェックポイント間の所要時間を回答する。

となっています。

コースは前橋公園スタートで、箕郷町でODを取り、旧唐松林道を登って榛名湖を一周します。その後は伊香保温泉を抜けて白井宿へ下ります。後半は赤城山山麓を時計周りに半周して、赤城大沼を経て南側の赤城神社でフィニッシュの約120kmです。宿泊は山の中の一軒宿の滝沢温泉を予定しています。

<総会出席者の近況報告>

小西（1967年入学）

私が1967年に入学・入部して以来、今年でちょうど50年になります。自動車部に入部した頃は50年後のことなど考えもしませんでした。こうして50年経って苦楽を共にした皆さんと再び集える喜びをかみしめています。

退職後の楽しみとして、アマチュア無線とソフトバレーボールを続けています。よく退職後は「サンデー毎日」と言われますが、私の場合、週末は両者の関連行事でスケジュールがほとんど埋まっています。

アマチュア無線では週末にいろいろなコンテストがあります。コンテストとは、一定の時間内にいかに沢山の局と交信するかを競うもので、短いものでは2時間から、長いものでは48時間

まであります。（コンテストによっては10日ほどのこともあります。）

ソフトバレーボールでは週末に近所の体育館での練習や試合があります。先日も府中市の市民大会があり、私もクラブのメンバーと60歳以上の部に出場しました。残念ながら最下位に終わりましたが、プレーを楽しみながら汗を流し、満足しました。（来年こそ、1勝はするぞ！）

自動車関係では、昨秋、ラリー形式のドライブ会に同期の高橋君と一緒に、高橋君のクラウンで参加しました。ドライバーは高橋君、ナビゲーターは小西と、現役の時にはなかった組み合わせでした。（現役時代のラリーで、高橋君は計算のスペシャリストでした。）

ドライブ会担当の山崎さんが作成し、事前にインターネットで送られたコース図に従って、スタートの猿橋駅から柳沢峠、太良ヶ峠を走り、武田神社がゴールの約100kmのコースでした。

現役の時以来、半世紀ぶりのラリーを楽しみながら、コマ地図に従いミスコースなくゴールできました。競技と違って、あくまでもドライブを楽しむためなので、ミスコースをしやすそうな場所には、前地点からのおおよその距離が記されていて、大変分かりやすかったです。

なお、タイムの算出は湯村温泉の宿へゴールした後、まとめて電卓で計算し、主催者へ提出しました。結果は4チーム中の3位でした。

最近の車はトリップメータがデジタル表示で、運転席からは見やすいけれど、ナビ（助手席）側からは覗き込まないと良く見えません。しかも、表示が100m単位なので誤差が大きくなります。（聞けば、今年の府大戦も同様だったとのこと。）私たちが現役のころは機械式のトリップメータで、10m単位まで読めたと思います。

今回のコースはほぼ完全舗装で、特に柳沢峠付近はきれいな道に変わっていて驚きました。夜、砂利道を部車のエンジンを唸らせながらガタガタ揺られて走った当時と違い、高橋君の運転する高級車のクラウンで周りの紅葉を眺めながらゆったりと走り、50年という年月の違いを感じました。

なお、私は翌日の朝からソフトバレーボールの練習があったため、ゴール後の宿泊や懇親会はパスし、岡崎さんに甲府駅まで送ってもらい、夕方の列車で帰宅しました。そのため、前号の「ていらくらんぷ 6号」に載った集合写真に、私は写っていません。

今年もスケジュールが合えば、また参加したいと思います。

以上

中野 （1968年入学）

「人生をより色どり豊かなものにするために」

小林麻央さんのブログには心を揺さぶられました。



右端が小西（28）

「なりたい自分になる。人生をより色どり豊かなものに。だって人生は一度きりだから。」
最近、私が第二の人生を「より色どり豊かなものにするために」やっていることは。

1. ボーカルレッスン

昨年、カラオケ大会で100点を出して優勝しました。また、今年になって同期の友人がシャンソンのリサイタルを開き、これに刺激されて自分ももう少しやれるのではないかと思いい、ボーカルレッスンを受けることにしました。1回90分の個人レッスンを月2回通っています、菅原洋一と一緒に歌っていたこともある65才の先生が、グランドピアノで弾いていただけるので気分は最高です。歌うのは私の好きな歌謡曲ですが、教室で歌謡曲を歌うのは私だけのため、先生はピアノを弾くのに苦労しています。他の生徒はシニア世代が多く90代の方もいます。今、10月の初ステージに向けて練習をしています。舞台衣装をどうするか考えながら、少し体を絞らないといけないと思いい、毎日8000歩以上歩いています。



2. 海外旅行

家内はヨーロッパが好きなので、昨年から二人で回っています。この中で一番感動したのが、今年5月の「プラハの春音楽祭」のオープニングコンサートで、世界的指揮者ダニエル バレンボイム率いるウィーンフィルハーモニーのスメタナ作曲「我が祖国」の演奏を聞いたことです。このオープニングコンサートは指揮者とオーケストラにとっても名誉なことで、一生懸命やっていたのが分かり、生の迫力に感動しました。1時間半の演奏が終わるとスタンディングオベーションが5分以上続き、会場も素晴らしく、我々もスーツとドレスを着て特別な体験でした。観客はシニアが多くシニア世代が支えているんだなあと感じました。今回のツアー参加者はテロの影響で少なく、3組6人でしたがこれもほとんどシニアでした。

3. コンサート

一昨年から八神純子のコンサートに、ほとんど毎月のように行っています。昔からファンだったわけではありませんが、国際結婚してロスで3人の子育てをして、2011年に15年振りに日本に戻りコンサートを再開。新しいアルバムを2枚出し、年輪を感じさせる新曲と歌声が素晴らしいのです。現在59才ですが年を感じさせない歌声で2時間半以上、最長4時間のコンサートを一人で歌い切ります。観客はほとんどがシニア世代で、盛り上がってくると立って手拍子をして、最後は全員総立ちになりすごい熱気です。

いろいろやってみるとシニア世代が世の中をしっかりと支えていることがよく分かりました。また、新しいことをやると、新しいことが見え、新しい世界が広がることを改めて実感しています。

以上

島 (1968年入学)

小西先輩から、入学後/入部後約50年が経ったとお話がありました。振り返ると時間の経過は早いものだと感じています。

現在では状況の変化から大学間のラリー競技は困難となってしまいましたが、私の在学中のラリーの思い出をお話します。私はナビで出させてもらっていたのですが、ラリー競技中に車に酔ってしまい、途中からはまったく何も出来なくなってしまいました。そのときのドライバーだった小河先輩と計算(カリ)のメンバーが助けてくれて、なんと優勝しました。このときの小河さんというか先輩の実力の凄さを思い知った覚えがあります。



少し話が飛びますが、私が社会に出て感じたことは、仕事で課題が見えてくると「どうしたらできるか」というスタンスで、何事にも取り組むということでした。このことは学生時代にも部活動で培われたと感じていますので、在学中の諸君も部活動の中で、何事にも前向きに取り組んでいただきたいと思います。

先ほど山崎さんよりドライブツアーの検討で群馬県のコースのお話がありました。私は単身赴任で7年ほど栃木県に住んでおりましたので、その間に日光周辺や榛名山周辺の山道をよくドライブしました。昔はこれらの道のほとんどが路肩も明確でない砂利道で、しかも、時には夜の雨の中での運転練習で通ったことのあることがあった道でした。カーブでは、砂利道のバンクでテールを流してスピードを落とさずに通り抜ける快感を味わったことを思い出します。今では舗装路となっていますが、カーブやアップ・ダウンの多い道を走っていると、全身の感覚を研ぎ澄ました(自分にとっては)限界で運転した当時の記憶が蘇ってきます。この歳になっても学生時代の感覚や思いが蘇ってくるのは不思議です。

私の近況ですが、輸出鉄鋼製品の検査の仕事をしています。大手鉄鋼会社の製鉄所を訪問し、鋼板や鋼管の検査の仕事をしています。技術分野から見ると昔の業務の延長みたいな感じですが、自分の経験を検査会社の同僚に伝承することにもやりがいを感じています。

先日仕事で愛知県の半田に行った折、同期の田上君に会ってきました。以前の愛車はトヨタ・ランドクルーザーと聞いていましたが、現在は白のクラウンです。週2回のゴルフに励んで、元気にしていました。OB・OG会にはなかなか出られないようです。

田上君の近況：



田上君と愛車クラウン



田上君と私

以上

山崎（野須）（1970年入学）

3月末に定年で首都大学東京を退職したのですが、退職前とあまり変わらない生活を送っています。週1回の非常勤講師のほかに3~4日は大学に行っており（無給のボランティアです）海外出張や学会発表（来年度分も）の論文執筆でまだまだ忙しい毎日を送っています。



そのため退職前に計画した様々なプランが実現できていません。ダムカード、マンホールカードを収集しながら、全国の水族館、美術館を巡り土地土地のおいしいものを食べて廻る予定でしたが、いまだ放浪の旅に出発できずにいます。しかし、10月の高松での学会出席の機会に合わせ、早明浦ダムをはじめとする四国の50余のダムから始めたいと思っています。昨年の3月にも学会で徳島に行き、その後、四国を一周したのですが夫と一緒にだったので行きたいところには行けませんでした。今回は一人旅なので楽しみです。

山梨の家も4月にリフォームを開始して5月末には完成している予定でしたが、大学の仕事が忙しく、2か月遅れのスタートとなったため7月末にやっとほぼ終了し、まだ段ボール箱の山に囲まれています。

秋からは東京の家のリフォームをして、年内には長男家族と同居の計画でしたが、2月からの研究室の片づけ、山梨の家の荷物の梱包と解包と続きかなり疲労がたまっていますので、長男家族に少し延期したいと伝えました。長男は、業者を入れて片付けるので、必要なものだけ別にしておいてといますが、やはり終活を兼ねて自分で片づけたいと思っています。

何時になったら穏やかな引退生活が送れるのか……。来年の今頃は、楽しい隠居生活に浸っているといいのですが。

追記：1月に行った私の最終講義のダイジェスト版に近いものが、大学のホームページの公開講義にアップされています。これは大学が開催しているオープンユニバーシティという一般市民向けの講座のダイジェストです。

<http://ocw.tmu.ac.jp/ja/courses/15/lectures/66>

山田（1976年入学） 橋と関わって

私達が自動車部で活動をしていた頃は、部員の所属学科は上下の代を含めて機械工学科に籍を置く方々が多い時代でした。メカニックに強いメンバーが多い中で、私は土木工学科に籍を置いていましたので、メカニックに関しては見よう見まねで活動をしていました。



学部4年のゼミは橋梁研究室を選択し、1980年（昭和55年）3月に卒業しました。ゼミの指導教授のすすめもあり卒業後は鋼橋の製作メーカーに就職し約20年の勤務を経て、現在は鋼橋専門の設計事務所に勤務しています。就職して今年で37年目、6月に還暦を迎えたこの時期に、私が社会人になってからの橋との関わりを振り返ってみようと思います。

社会人となった1980年頃は、道路整備が華やかかりし頃で、建設省、日本道路公団、本州四国

連絡橋公団や各都市高速道路公団・公社などが競って高速道路の供用距離を延ばしている時期でした。一般国道や高速道路に架かる橋の建設も数多くあり、業務としての関わりは設計、製造、現場架設の多岐にわたりました。橋の用途別としては道路橋、鉄道橋、人道橋（歩道橋）など多くに関わりましたが、材料は鋼（はがね）の橋が専門です。橋梁の発注はそのほとんどが国や地方公共団体など「官」からですが、稀に工場敷地内やゴルフ場内などに建設される「民間の橋」もあります。また、道路に架かる橋は国土交通省が定める「橋、高架の道路等の技術基準（道路橋示方書）」に基づき建設されるのに対し、建築物に架かる橋（ビルとビルを結ぶ連絡歩廊など）は建築基準法に則り建設されているという違いがあります。

1980年代後半に米国で橋のメンテナンスに十分な予算処置がされないことから、建設後50年以上を経た道路橋の老朽化による落橋、損傷、通行止めなどが相次ぎ、「荒廃するアメリカ」と呼ばれることがありました。日本の道路橋の数はおよそ16万橋（橋の長さが15m以上のもの）で、その多くは高度経済成長期までに建設され、今後は橋齢50年を超える橋が急激に増えていくこととなります。わが国では米国の轍は踏まないように、メンテナンスの重要性を認識し、補修・補強の考えが早くから根付き、最近では「新橋建設」と「補修・補強」が発注額ベースでほぼ等しくなっています。この先も引き続きメンテナンスに重点を置いた施策が行なわれるものと思われまます。ちなみに現在の道路橋示方書では、橋の供用期間は適切なメンテナンスを行うことを条件に100年と規定されています。

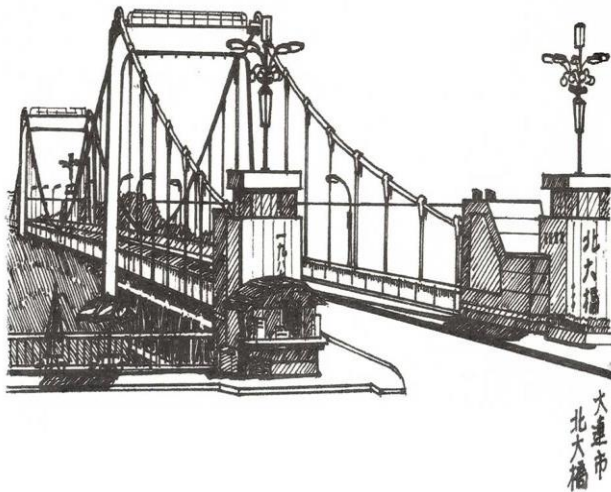
卒業当時の道路事情は、東名・名神高速は1本の動脈として機能していましたが、それ以外の高速道路では部分開通区間が多く、高速を降りた先は一般道をトコトコ走った記憶があります。しかし近年では国内を網羅すべく高速道路網が整備され、ルートを選びながら快適なドライブが実現できるようになりました。皆さんが何気なく通過している高速道路や一般道には路面を支えるための橋梁が沢山ありますが、高齢化した橋梁も利用する方々に安心して通過していただくために、官民が力を合わせて維持管理にあたっています。私も微力ながら橋という社会資本の整備のお手伝いをしている今日この頃です。

そんな私ですが、仕事と趣味を兼ねて橋の絵を描いています。紙面を借りてそのうちのいくつかを披露させていただきます。これまでに関わった橋や国際会議の折に見て回った橋を現地で写真に収めて、暮れに年賀状の図案としてペンを走らせたものです。原稿は年賀状サイズですので大きく引き伸ばすと粗が見えてしまいますがご容赦のうえご覧ください。

【福島県只見町 寄岩橋】

寄岩橋は只見町塩沢地内の国道252号線に昭和35年に架設された支間長88.8mの鋼単純下路式ランガー橋です。只見地区では『平成23年7月豪雨』による只見川の増水で多くの橋梁が大きな被害を受けました。寄岩橋も橋体に損傷を受けながら現在も供用中の橋梁で、一日も早い修復工事の実施が待たれます。



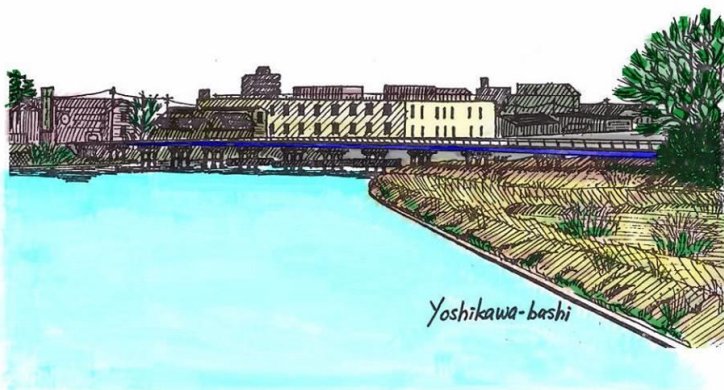
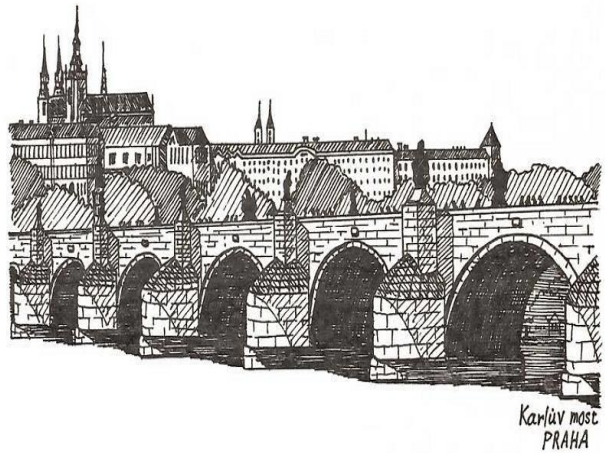


【大連の北大橋】

大連には中山広場や旅順港など見どころはたくさんありますが、大連市民の憩いの場として知られる、星海広場から続く濱海路のハイキングコースの中に北大橋があります。姉妹都市である北九州市と大連市の友好関係締結5周年を記念して1987年に建設された橋長230mの吊り橋です。

【プラハのカレル橋】

カレル橋はプラハを流れるヴルタヴァ川に架かる橋です。橋長516メートル、幅員9.5メートル。15のアーチの上に、砂岩から切り出した石の橋桁が渡されています。背景はプラハ城で、かつてボヘミア国王や神聖ローマ皇帝の居城であったものです。現在はチェコ共和国の大統領府が置かれています。



【埼玉県 中川に架かる吉川橋】

私が住む吉川市と越谷市を結ぶ吉川橋の架け替え工事が平成27年に始まりました。この絵は旧橋(昭和8年に建設された15連のコンクリートT桁橋)です。建設後80年が経過し相当に老朽化が進んでいました。新橋の完成は平成30年の予定です。

以上

<近況報告スピーチをされた方々>



柴沼 (1969年入学)



佐藤 (1969年入学)



中山 (1971年入学)



坂巻 (1971年入学)



鈴木 (1972年入学)



山内 (1978年入学)



佐藤 (1996年入学)



芳賀 (2000年入学)

<各テーブルグループ写真>



<懇親会后・国際交流会館前写真>



懇親会終了後、会場の国際交流会館前の広場で、現役部員が取り組んでいる軽自動車耐久に使用している部車の展示会がありました。現役部員と一緒に、ボンネットの中を熱心にのぞき込む人、運転席に座ってハンドルの感触を確かめる人等、しばしの間、思い思いの見学を楽しみました。

<二次会写真> 南大沢駅の居酒屋 わん にて



参加者 上左 伊藤、佐々木、山内
中左 河本、中山

上右 佐藤、柴沼、小島
中右 中野、岡崎、坂巻



<総会に参加できなかった方からのメッセージ>

戸部 (特別会員) 近況+75歳以上の免許更新

この文章を読んでくださる方は、75歳なんてまだまだ先の話だよ、と仰る方がほとんどだと思います。しかし、その時期は必ず来ます。

高齢者が運転する車でブレーキとアクセルの踏み違いから暴走する事故が多発したことが背景になり、今年の2月ごろから認知症検査とその後の取り扱いが厳しくなりました。その詳細はいろいろなところに出ていますので割愛。試験は教習所で行われます。

ちょっと自慢話になりますが、私は認知症検査で100点を取って、悠々パス！ちなみに76点以上が、「記憶力、判断力に問題がありません」で結果を書いた青い書類が渡されます。

青紙書類をもらった人は、別の日に、「高齢者2時間教習」を受けます。75点以下の人はもっと長い時間の講習です。

問題はここからです。教習所の中で車を運転しての教習の結果、私に言われたことは、「コーナーでの速度が速すぎます。一つのコーナーで速度が速すぎると-20点！あなたは四つのコーナーで速度が速すぎたので、-80点です！遠心力を感じてはダメなのです！」だと。コーナーで速すぎた遠因はTMUACにあり、ですね。一方、私の感想は、「教習所は変なことを教えるところだな～！なんでコーナーで遠心力を感じてはいけないの？」でした。

認知症検査方法は警察庁のホームページで公開されています。75歳はず～っと先の話でも、頭の体操にやってみてはいかがでしょうか？

坪井 (1965年入学)

テイルランプから52年。歲月、早いものだ。

憧れの大学に入学し、本業の学問はさておき、先輩の巧みな勧誘に絆されて一生を決めることとなる自動車部に入部しようとは。

埃にまみれ油が染みついた「テイルランプ」なる部誌が部室の片隅にあった。

日々の部活動のこと、遠征のこと、ラリーは盛んではないらしくあまり触れられてなかったように思う。私はこの部誌を読んで、大学生ともなると凄いなものだ。妙に感心し、付いていけるか？不安を覚えた。

そのうち、先輩から原稿を書くようにと命じられ「新入生のある日、遠征記」などいくつか書かせていただいた。思い出しても恥じ入るばかりだ。

編集長には、女性部員、皆のあこがれTMさんが熱心に敏腕を振るわれ、後任にもM君がガリ版で頑張った。嗚呼！自動車部の部誌なのに、、、一向に車の話が出てこない。

こんなわれわれにも、栄光への入り口が見えてきた。

1965年、昭和40年、東京オリンピックの冷めやらぬ将にその年に、東京都立大学自動車部が、東京大学五月祭ラリーに優勝したのだ。未だ免許も取得してないにも拘らず優勝の機会に同席できたことは光栄だった。私ごとで恐縮ですが報告に伺った折の部長、亡きM先生の表情を今でも鮮やかに思い出す。

人生負けたらあかん！体育会に入れてもらえないような同好会、少人数大学のわれわれでも勝

てるんだ、優勝できるんだ。と、先生は強く言われた。同好会から体育会へは部活方針の柱であった。後輩のためにも、何事も！

それから破竹の勢いで出ると勝ち、「優勝以外は皆から認められない」との心意気だった。

出場するには、何か新しい斬新なことを、具体的な負けない努力をと、日々切磋琢磨したものであった。

こうなると他校からも出場者からも、一目置かれる存在となった。朱色のジャンパーが来た(当時は派手な朱色のジャンパーを着用していた) 今回は何をするのだろうか？

20 数回優勝したので、年間 10 回ほぼ毎月優勝していた計算になる。

こうして根拠のない弱音から脱却できたとすれば、かけがえのないことではないかと思う。

江間 (1968 年入学)

相変わらず会社勤めをしております。最近パソコンに向かってもすぐに画面がぼやけてしまうので、度々休憩室に行き竹芝の海を眺めては目を休める毎日です。

ということで勤めもそろそろ限界、今年度中の引退を考えながら過ごしております。

(川崎重工業(東京本社)に関連会社からの派遣という形で勤務しています。)

吉田 (1968 年入学)

みなさんお元気ですか？ 今年 3 月に 4 番目の 3 女が結婚し子供全員が巣立ち(?)しました。

現在孫は 7 人(男 4 人女 3 人、内 5 人は米国系ハイブリット)ですが、おそらく 10 人にはなりそうです。

今年 7 月 1 日からロータリークラブの 2580 地区東京の北半分 69 クラブのガバナー(日本のガバナー会の副議長)になりました。まだ仕事は現役で頑張ってる(?) おり、海外進出を目論んでいます。

週末は愛車でゴルフ&ドライブを楽しんでいます。

甲田 (1969 年入学)

OB&OG 会の皆様、ご無沙汰しております。

私は今、週に 3 日母親を自宅に泊めて介護しているのですが、母は夕方 6 時過ぎにはベッドに入って寝てくれます。それは助かるのですが、反対に朝は日の出と共に目を覚ますので、今は朝の 4 時半過ぎに起きてきます。そのため、私もそれに合わせて 4 時~4 時 30 分くらいには起きています。

普段でも 5 時頃には起きるので、そんなに負担ではないのですが、うっかり寝過ごすと認知症のある母親がパニックを起こすので、なかなか熟睡できないのがつらいところです。

ただ、8 月中旬には娘が 2 人目を出産する予定なので、8 月からは母親の介護は一時お休みになります。少しは楽ができそうですが、さてどうなりますか？

羽入田 (1970 年入学)

昨年 7 月に 65 才になり、8 月から清水建設の子会社に移り派遣社員として引続き今まで

と同じ職務（清水建設の土木部門に係った方のOB会の事務局）についています。給料はほぼ1/5になりましたが、フルタイムで勤めています。ただし、職務に支障がなければかなり自由に時間は使わせてもらっています。1年ごとの更新ですので、もうしばらくは勤めようかと思っています。

大橋（1995年入学）

昨年から三栄書房に転職して、新車本、いわゆる「すべてシリーズ」の編集部で働いています。

自動車メーカーにいる自動車部OBも多いと思いますので、何かの機会に取材現場でお会いできないかと密かに期待しております。

田中（1998年入学）

英国に来て5年目になりました。相変わらずフォースインディアで燃料系の設計をやっています。去年はランキング4位で終了し、今年も順調に4位で足場を固めています。さらに上位を目指したいところですがTOP3にはなかなか及びません。

今年はまだ表彰台がないのでどうにか一回くらいは乗りたいところです。

（写真は去年の3位 x2回のトロフィーです）



先月家を購入しました。恐ろしい値段でしたが、英国では不動産の値下がりがないという神話を信じて購入することにしました。普通の家よりも幅の広いガレージがついているので、そこでクルマいじりができたらなあと思っています。

色々と修繕するのが先決ですが。

Eliseはまだ乗っています。最近LSDを入れてますます速くなりました。



<編集担当からのお願い> 佐々木 (1968年入学)

来年1月末発行予定の「ているらんぷ第8号」についてのお願いです。これまで、第4号、第6号では、巻頭に1967年入学の小河博さんの「ミニ写真展」をグラビアとして掲載しました。第8号でも、同様の巻頭グラビアページを載せたいと思います。つきましては、皆さんの「ご自慢の趣味」、「貴重な体験」、「珍しいお宝」、「絵画、工芸品等の作品」など、何でも結構ですので、我こそはと思われる方は、お気軽に編集担当の佐々木宛にご一報ください。もちろん、ご自身ではなく、「〇〇さんは、こんな趣味をお持ちですよ」といった情報でも構いません。また、必要があれば、私が取材にお邪魔させていただきます。以上、皆様方の積極的なご参加を心からお待ちしております。よろしくご協力をお願い致します。



編集担当・佐々木

連絡先：メールアドレス：ik.sasaki@jcom.zaq.ne.jp

携帯：090-7243-4128

<編集後記>

第6号に引き続き、今号も役員・幹事の共同作業による編集となりました。

掲載した写真は、1969年入学の伊藤さんが持ち前の撮影センスで精力的に撮って頂き、各場面の雰囲気をお伝え出来たのではないかと思います。会員の近況報告は総会出席者だけでなく、参加できなかった方にもお送り頂き、顔写真のみ掲載の方を含め、懐かしく感じた方も多かったのではないのでしょうか。また懇親会での<現役部員からの活動報告>の内容紹介に加え、表紙の府大戦ジムカーナ風景、<総会前風景>、<懇親会后・国際交流会館前写真>等の写真をご覧いただき、自動車部の現在の姿を多少なりともイメージして頂けたのではと思います。

現役部員は女性部員二人が加わり、今後のOB&OG会との交流の面でも、楽しみが広がってきそうな予感がします。

編集担当 佐々木